

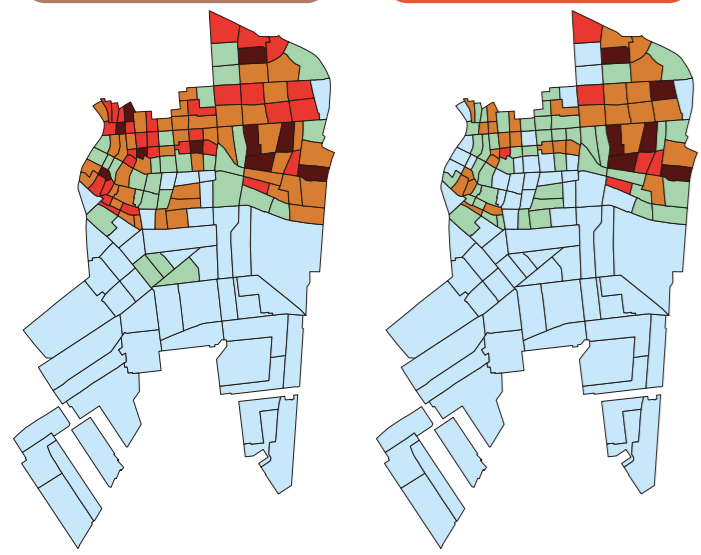
！情報 地域危険度測定調査結果



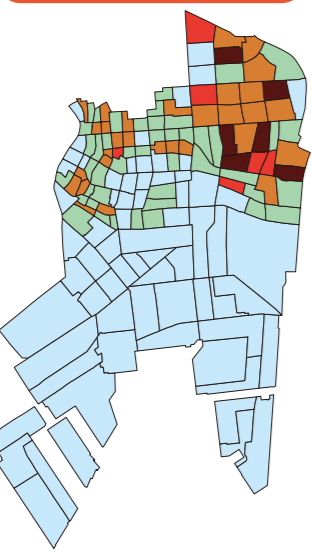
総合危険度

この調査は令和4年9月に最新版が公表されたもので、下記3項目を町丁目ごとに測定し、危険度をランク1(危険性が低い)から5(危険性が高い)に色分けして表示している。【総合危険度】建物倒壊危険と火災危険に加え、災害時活動困難係数(一定以上の幅を持つ道路の量などから算出)を掛け合わせ指標としたもの。【建物倒壊危険度】地震によって建物が壊れたりする危険度を測定したものの、江東区地域の地盤は軟弱なところが多く、比較的危险度が高いといえる。【火災危険度】地震によって発生した火災で被害を受ける可能性を測定したものの、周囲からの“もらい火”による延焼危険性も考慮されている。

建物倒壊危険度



火災危険度



！計画 帰宅困難者心得10カ条

- 1 あわてず騒がず状況確認
2 携帯ラジオをポケットに
3 作っておこう帰宅地図
4 ロッカー開いたらスニーカー(防災グッズ)
5 机の中にチョコやキャラメル(簡易食料)
6 事前に家族で話し合い(連絡手段、集合場所)
7 安否確認は災害用伝言ダイヤルの活用や速く的確に
8 歩いて帰る訓練を
9 季節に応じた冷暖準備(携帯カイロやタオルなど)
10 声を掛け合い、助け合おう

！情報 日頃から備えておこう

① 訓練に参加しよう
災害が起きたときに、何の準備もなく適切な行動をとることは不可能です。災害時に適切な行動をとり、被害を最小限に抑えるには、日頃から防災訓練に参加することが大切です。

② 非常持出品を用意しよう
避難の際に当面必要となる物を用意しておき、それらをリュックなどに入れ、いつでも持ち出せる所に置いておきましょう。

③ 家の中を安全に
二次災害を防ぐために、大きな家具を固定する。ガラスに飛散防止フィルムを貼る、石油ストーブの転倒防止をする、感震ブレーカーの設置などで火災対策を行うなどが大事です。

④ 家族会議を開こう
災害時に家族が離れ離れになってしまう事態ほど不安なことはありません。家族会議で、待ち合わせ場所や、災害用伝言ダイヤルの活用法を決めておくことが重要です。

⑤ 避難場所などを確かめよう
災害時の避難所や避難場所だけでなく、一時集合場所なども確認しておきましょう。いつもの道が壊れた建物などで通れない場合に備え、複数の経路を確認することも大切です。

！情報 災害時の情報取得方法

災害発生情報や避難情報は、様々な方法で取得できます。テレビ、ラジオに加え、日ごろから情報入手先を確認しておきましょう。

防災行政無線
区内の小中学校や公園にスピーカーを設置しています。普段は、点検放送として方にチャイム放送しています。

緊急速報メール・エリアメール
メールアドレスを登録し、気象・災害情報、防災行政無線の放送内容、国から発せられた緊急情報(Jアラート)、防犯情報などが受信できます。

こうとう安全安心メール
メールアドレスを登録し、気象・災害情報、防災行政無線の放送内容、国から発せられた緊急情報(Jアラート)、防犯情報などが受信できます。

防災マップアプリ、江東区防災関連ツイッター
防災マップアプリ(右記QRコードよりダウンロード)
ハザードマップ情報、避難施設検索などができます。

区のウェブサイト
区のホームページ https://www.city.koto.lg.jp 区のホームページのトップに緊急情報を掲載いたします。

その他の情報伝達手段
その他にも、江東区LINE、フェイスブック、ケーブルテレビ、コミュニティFM、Yahoo!防災速報などを活用し、災害関連情報を配信します。

！情報 非常時の持出品リスト

災害発生時に備え、必要となる物を用意しておくことが大事です。下のリストを参考に、いざという時にすぐに持ち出せるよう日頃から準備しておきましょう。

- 1 水
一人1日3リットルを自前に
2 非常食
非常時は保存期間を重視
3 携帯トイレ
1日5回分を目安に
4 携帯ラジオ
手回し充電式のものがよい
5 救急用品
解熱剤やカゼ薬も
6 衛生用品
マスク、生理用品、おむつ、除菌ウェットティッシュなど
7 モバイルバッテリー
電池式だと停電時安心
8 現金
機械故障や停電でATMなど動かないことがある
9 その他
ヘルメット、衣服、軍手、マルチツール、処方箋薬など

！計画 大規模水害発生時の避難方法

大規模な水害の発生が見込まれる時には、区や消防署などから防災行政無線などを使って避難の呼びかけをします。避難の呼びかけがあった際には、区が指定する公共施設や一時避難施設などの避難先へ速やかに避難してください。その際、建物のできるだけ高いところに避難することが大切です。なお、自宅が安全であれば、在宅避難が基本となります。

砂町地区

Table with 4 columns: 避難所名, 所在地, 地図索引. Lists evacuation spots like 砂町小学校, 第七砂町小学校, etc.

南砂地区

Table with 4 columns: 避難所名, 所在地, 地図索引. Lists evacuation spots like 第二砂町小学校, 第三砂町小学校, etc.

小松橋地区

Table with 4 columns: 避難所名, 所在地, 地図索引. Lists evacuation spots like 川南小学校, 深川第四中学校, etc.

東陽地区

Table with 4 columns: 避難所名, 所在地, 地図索引. Lists evacuation spots like 平久小学校, 東陽小学校, etc.

ら準備しておきましょう。また、使用時に支障がないよう、年2回を目安に定期点検をし、賞味期限などを確かめましょう。

日常備蓄について

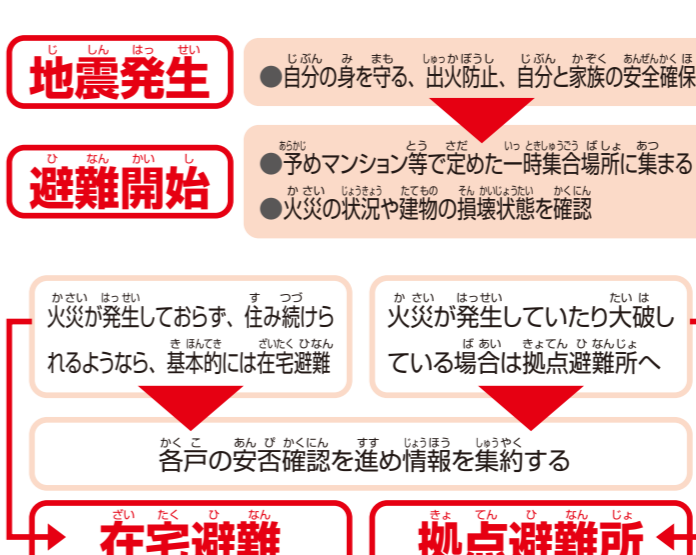


！避難 高層住宅における避難行動

地震があった際は、小中学校などに開かれる避難所に避難することが考えられます。耐震や免震にすぐれたマンション等の場合、地震後も建物に安全に住み続けられるならば「在宅避難」が基本です。在宅避難をする場合、マンション等にお住まいの方は、災害協力隊を中心に下記のように行動しましょう。

！避難 災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは、地震などの災害発生により多くの方が一斉に電話をかけた電話がつながりにくい状況になった場合に開始されるサービスです。声の伝言板として、家族間での安否確認や集合場所の連絡などに利用できます。下記の日には、体験利用ができますので、いざというときに備えるために試しておきましょう。



！計画 地震発生直後の行動ポイント

- 1 地震が発生したら
2 揺れが収まったら
とにかく自分の身を守ろう
落下物から身を守るため、机の下に入ったり、大きな家具から離れるようにしましょう。足のケガを防ぐために靴やスリッパを履きましょう。
ます火の始末
火を使っている時は、大きな揺れが収まったらあわてずに出火防止。

- 3 火の始末が済んだら
出口を確保する
いつでも避難できるように、部屋の窓や戸、玄関のドアを開けて出口を確保。
4 自分の安全を確保できたら
我が家の状況を確認
我が家の状況を見て、在宅避難が困難な場合は、非常持出品を持って避難しましょう。

5 避難前に確認

電気ブレーカーとガスの元栓の確認を忘れずに
電気ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めてから避難しましょう。

6 近所の安否確認
隣近所で助け合いを
一人一人での応急活動には限界があります。初期消火や避難の際には、隣近所で協力あって活動しましょう。

！避難 主な防災関係機関の連絡先

Table with 2 columns: 機関名, 連絡先. Lists contact info for various departments like 江東区役所, 消防(緊急通報 119), 深川消防署, etc.

災害時には電話が大変混み合いますので、くれぐれも緊急以外はご遠慮いただきますようお願いいたします。